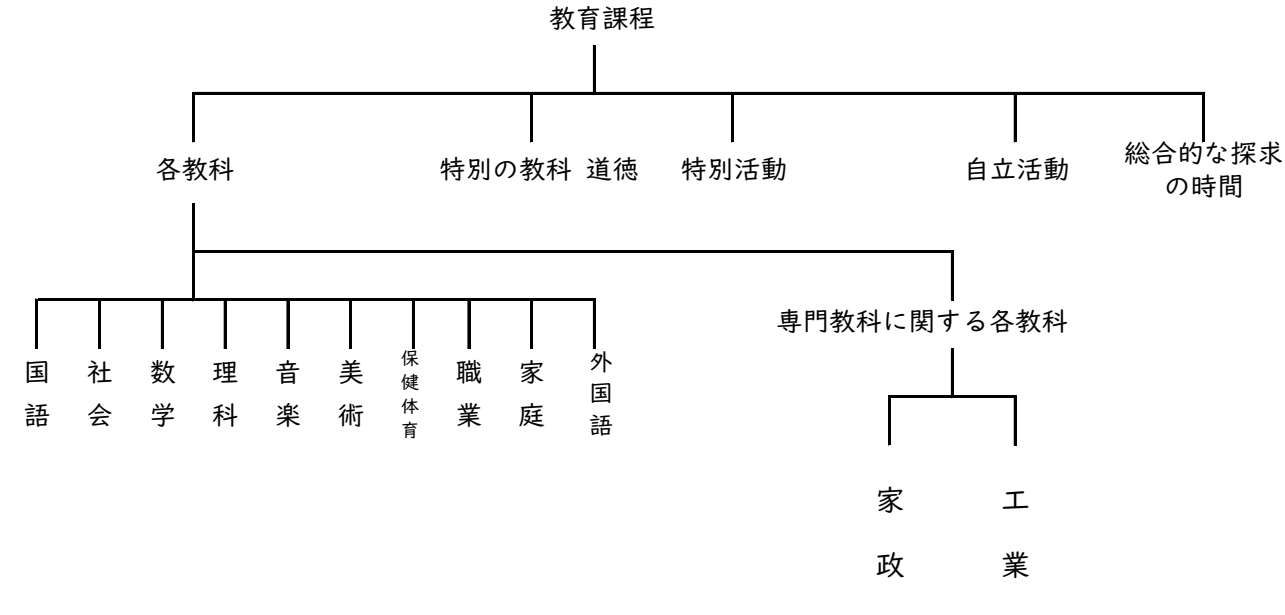
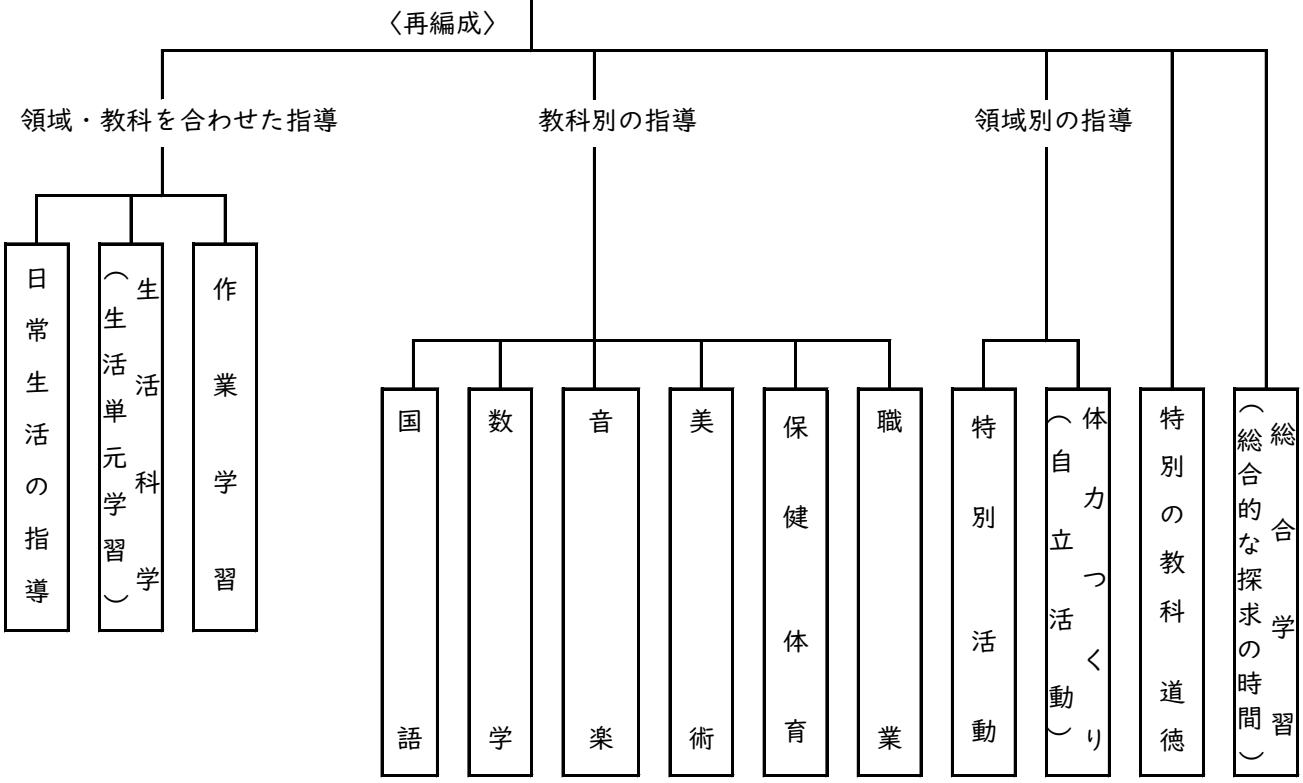
教育課程

（１）教育課程の構造

ア　指導内容の分類

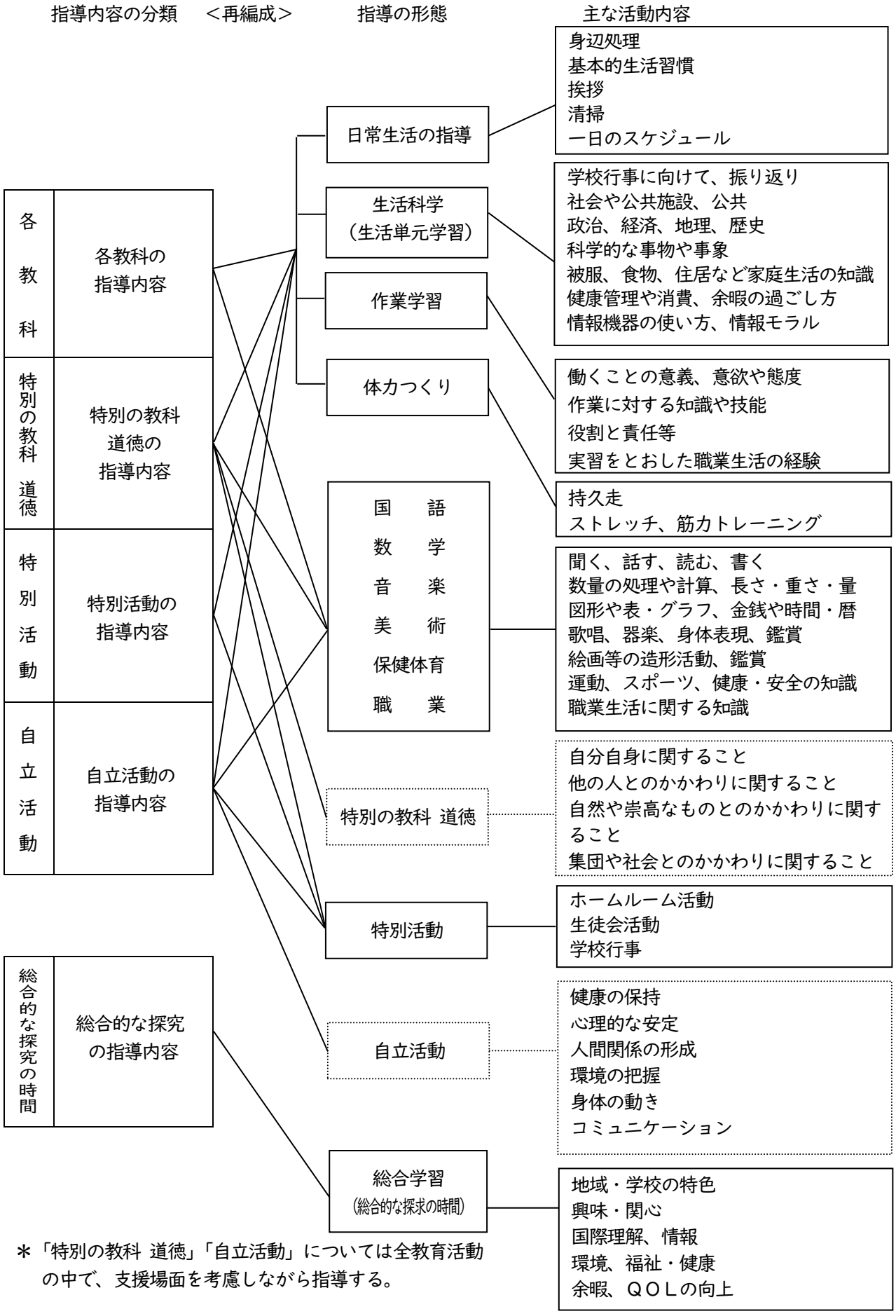


イ　指導の形態



＊「特別の教科 道徳」「自立活動」については全教育活動の中で、支援場面を考慮しながら指導する。

（2）具体的構造図



＊「特別の教科 道徳」「自立活動」については全教育活動の中で、支援場面を考慮しながら指導する。

（3）指導目標

ア　各教科等を合わせた指導

① 日常生活の指導

日常生活の基本的な習慣を身に付け、「職業自立」と「社会自立」に必要な態度や技能を養い、自立的な生活をするための基礎的な能力と態度を育てる。

② 生活科学（生活単元学習）

生活上の目標を達成したり、課題を解決したりし、「職業自立」と「社会自立」に必要な知識や技能、主体的に生活するための態度や意欲を育てる。

③ 作業学習

作業に関する基礎的・基本的な技術の習得を図り、働く意義と役割の理解を深めるとともに、職業生活に必要な能力と実践的な態度を育てる。

・終日作業

進路実現に向け、長時間働くことを通して主体的に自分の課題を解決して取り組む。

・他学科作業

普段と異なる作業を経験し、仕事に対する知識と経験の幅を広げる。

イ　各教科

① 国　語

生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。

② 数　学

生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。

③ 音　楽

表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。

④ 美　術

造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養う。

⑤ 保健体育

適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、心身の調和的発達を図り、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。

⑥ 職　業

勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。

ウ　各領域

① 体力つくり

職業生活や社会生活に必要な基礎的な体力を養い、健康的な生活を送るための技能や習慣、態度を育てる。

・集団性や集団規律を養う。

・健康な体と強い心を育てる。

② 特別活動

集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

③　自立活動

個々の生徒が自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。

エ　特別の教科　道徳

強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な社会生活を営む上に必要な道徳性を高める。

オ　総合学習（総合的な探求の時間）

設定したテーマや活動に興味を示し、自ら課題を見付けたり、主体的に判断したりし、問題を解決する力を育てる。また、普段の学習活動で身に付けた力や特性技能を、応用発展させ、生きる力を養う。